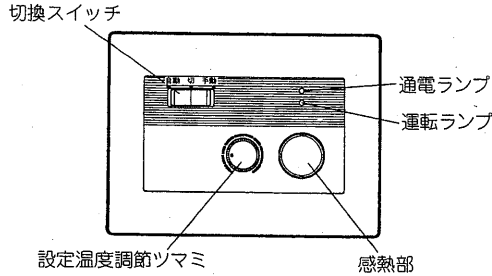


使用方法

機能

この温度センサースイッチは三菱送風機を任意の温度(0℃~50℃の範囲)で、自動的に「運転」・「停止」を行うためのものです。
感熱部の周囲温度が設定温度になると自動的に送風機を運転させ設定温度より低くなると自動的に送風機の運転を停止させることができます。



■自動運転

1. 切換スイッチを「自動」にします。
●通電ランプが点灯します。
2. 設定温度調節ツマミを回して、送風機を運転開始させたい温度に設定します。
●設定温度になると自動的に送風機の運転を開始し、周囲温度が下がると自動的に送風機の運転を停止します。
●送風機運転中は運転ランプが点灯、運転を停止中は運転ランプが消灯します。

■手動運転

- 切換スイッチを「手動」にします。
設定温度に関係なく送風機を運転します。

■停止

- 切換スイッチを「切」にします。
設定温度に関係なく送風機の運転を停止します。

お手入れのしかた

- パネルの汚れは中性洗剤を浸した布をかたくしぼってふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

お願い

- お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。
(シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤)

仕様

形名	FS-6TR
電源	単相100V 50/60Hz
温度調節範囲	0℃~50℃
制御容量	AC100V 6A
使用周囲条件	温度-10℃~50℃ 相対湿度85%以下
質量	0.47kg

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。

お客さまへ

MITSUBISHI

0302870HG7102

温度センサースイッチ (埋込形)

形名

FS-6TR

取扱・取付工事説明書

- 取付工事を始める前に必ずこの取付工事説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。(お客さま自身で工事しないでください)
- この製品の取付けには市販の埋込スイッチボックスが必要です。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

- ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同封のお客さま相談窓口一覧表とともに保管してください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、△警告・△注意の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	△注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
------------	----------------------------------	------------	------------------------------------

- 図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁止		分解禁止		指示に従い必ず行う
--	----	--	------	--	-----------

△警告

取 使 付 用 時 時		●交流100V以外では使用しないでください。(火災や感電の恐れがあります) ●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。(ショートや感電の恐れがあります)
		●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。 (火災・感電・けがの原因となります) 修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。

△注意

取 使 付 用 時 時		●浴室内取付けや、雨水がかかるような屋外取付けをしないでください。 (火災・感電の原因になります)
		●取付工事は十分に保持力のあるところを選んで確実に行ってください。 (落下によりけがをすることがあります) ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 特に、本体取付けの際は必ずJIS C 8340に規定されるスイッチボックス3個用(カバー付)をご使用ください。 (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります) ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります) ●取付けの際は必ず手袋を着用して行ってください。 (けがをすることがあります)

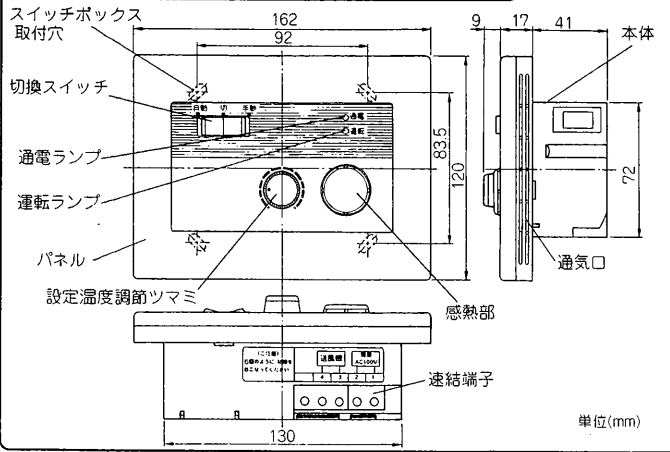
お願い

- 下記のような使用はしないでください。
 - 制御容量を越える送風機との組合せ
(送風機の電流より大きい接点容量の補助リレーを使用すれば可能です)
 - 有毒ガスの発生する恐れのある場所への取付け
 - 糞鶏・糞豚場のようなほこりの多い場所への取付け
 - 薬品がかかる恐れのある場所への取付け
(故障の原因になります)

取付方法

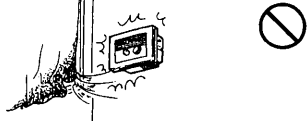
販売店・工事店さまへ

各部のなまえと外形寸法図



機能をそこなわないために

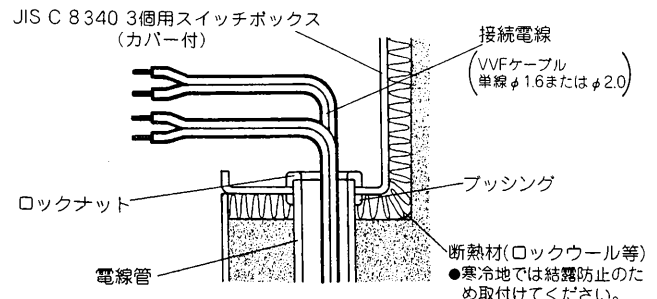
室温を正しく検知できない場所には取付けないでください。



外気や温風・冷風・エアコン等の吹き出し風の影響を強く受ける場所では正しく室温を検知しない場合があります。

工事店さま手配部品(市販品)

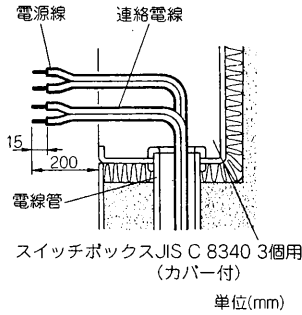
①	スイッチボックス	JIS C 8340 3個用(カバー付)	1
②	接続電線	VVFケーブル単線φ1.6またはφ2.0	1
③	電線管	薄鋼電線管(JIS C 8305)呼び径15~25	1
④	ロックナット ブッシング	電線管に合うロックナット、ブッシング	各1
⑤	断熱材	ロックウール等	1



取付手順

1

■スイッチボックスの埋込みと配線



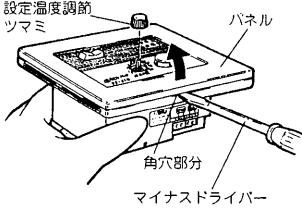
あらかじめ工事店さま手配部品のスイッチボックスを埋込み、接続電線(電源線・連絡電線)を配線します。

●お願い

●電線管の取出し方向はスイッチボックスの上下方向としてください。

2

■パネルをはずす



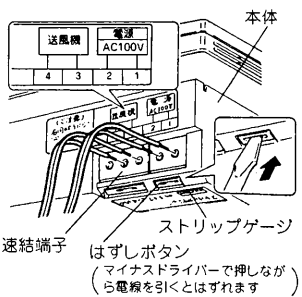
設定温度調節ツマミをはずし、下側の角穴部分をマイナスドライバーの先などで起こしてパネルをはずします。

●お願い

●設定温度調節ツマミをはずすときはシートを傷つけないようにはずしてください。

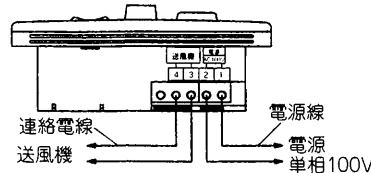
3

■結線をする



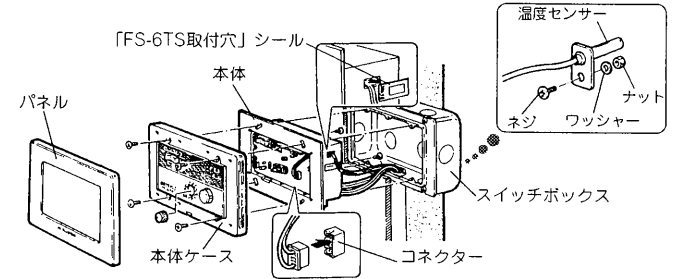
1. 電線被ふくは本体裏側にあるストリップゲージに合わせて15mmむきます。
2. 左図の通り表示に従って皮むきた芯線を速結端子に確実に奥まで差し込みます。
●電線を速結端子よりはずす場合は、速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながら電線を引っ張ってはずします。

■結線図



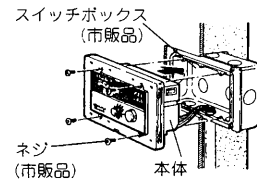
温度センサー(別売)を接続する場合

1. 温度センサーを取付位置に同梱のナット、ワッシャ、ネジで固定します。
2. 温度センサースイッチをパネル・本体ケース・本体に分解します。
3. スイッチ本体に貼ってある「FS-6TS取付穴」シールをはずします。
4. 内蔵センサーをはずし、温度センサーを接続します。
5. パネルと本体ケースを元通り取付けます。
6. 前項の結線図を参照して結線します。



4

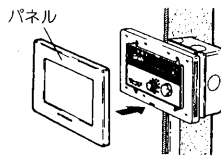
■本体の取付け



1. 本体をスイッチボックスにはめ込みます。
2. 市販のネジ4本で確実に取付けます。

5

■パネルの取付け



●上側を合わせ下側を軽く押しすると「パチン」と音がして、はめ込むことができます。

試運転

取付工事が終わりましたら、次の確認を行ってください。

1. 切換スイッチを「切」にして分電盤のブレーカーを「入」にします。この状態では通電ランプも運転ランプも点灯しません。
2. 温度調節ツマミを0の位置に回します。
3. 切換スイッチを「自動」にします。通電ランプが点灯します。送風機が運転し運転ランプが点灯します。(感熱部が0℃以下のときは運転しません)
4. 設定温度調節ツマミを右に回して室温を越えると運転ランプが消灯し送風機が停止します。
5. 切換スイッチを「手動」にすると通電ランプが消灯し、送風機が連続運転します。(運転ランプは点灯しません)
6. 切換スイッチを「切」にします。